

# モルドバ月報

2022年3月〔モルドバの報道をもとに作成〕

令和4年4月1日 在モルドバ大使館

## 【主な出来事】

- 4日、領空閉鎖が4月24日まで延長された。
- 14日、公衆衛生緊急事態の3月16日－4月15日までの延長、及び16日以降の新型コロナウイルス関連の規制（入国規制も含む）のほぼ全廃が決定された。
- 21日、領空閉鎖が西方向に向かう航空路に限り一部解除された。

## 1. 内政

- **領空閉鎖の延長**  
4日、領空閉鎖を現行の緊急事態期間中（4月24日まで）延長する発表があった。荷物・郵便輸送、人道支援、緊急の医療支援の目的の場合、領空使用は許可される。
- **不法取得された富の差し押さえに関する憲法裁判所の決定**  
10日、憲法裁判所は、不法な活動の結果得られた富の没収を容易にする決定を行った。15日、同決定は効力を持ち、大統領は憲法体系が欧州基準になった、と述べた。
- **領空閉鎖の一部解除**  
21日、同日正午より、ルーマニア方面に飛ぶ飛行機の運航のため、領空の一部を開放するとの発表があった。それ以外の領空は引き続き閉鎖されるが、荷物・郵便輸送、人道支援、緊急の医療支援、及び、その他当局の許可がある場合には領空使用が可能となる。

## コロナ関連

- **公衆衛生緊急事態の延長及び規制のほぼ全廃の決定**  
14日、3月16日－4月15日までの公衆衛生緊急事態の延長が決定された。また、屋内でのマスク着用義務以外、16日以降の新型コロナウイルス関連の規制（入国規制も含む）のほぼ全廃が決定された。
- **31日現在の国内感染者累計49.9万人**  
31日時点の国内における新型コロナウイルス感染者数は累計499,166人。死者は11,431人。

## 2. 外政

- **OSCE 事務総長のモルドバ訪問**  
1－2日、モルドバを訪問したシュミット OSC 事務総長はサンドゥ大統領、ポペスク外相と会談を行った。
- **ポペスク外相とジョージア外相との電話会談**  
1日、当地を訪問したザルカリアニ・ジョージア外相と電話会談を行い、ウクライナ情勢及び地域の安全保障環境の変化等について議論した。
- **モルドバ外務・欧州統合省が駐モルドバ・ベラルーシ大使を召喚**  
2日、モルドバ外務・欧州統合省は、1日のベラルーシ安全保障会議でルカシェンコ・ベラルーシ大統領が使用した地図を巡り、駐モルドバ・ベラルーシ大使を召喚の上、説明を求めた。
- **EU 上級代表の当地訪問**  
2－3日、当地に来訪したボレル EU 上級代表及びヴァールヘイ欧州委員（近隣政策・拡大担当）が、サンドゥ大統領、グロス議会議長、ガブリリツァ首相、ポペスク外務・欧州統合相とそれぞれ会談を行った。
- **仏外相の当地訪問**  
3日、当地を訪問したル・ドリアン仏外相及びレナルトゥチ人道支援・危機管理担当欧州委員は、サンドゥ大統領及びポペスク外務・欧州統合相と会談を行った。
- **サンドゥ大統領とアゼルバイジャン大統領との電話会談**

3日、サンドゥ大統領は、アリエフ・アゼルバイジャン大統領と電話会談を行い、地域情勢、そのモルドバへの影響及びウクライナ避難民へのモルドバの対応について議論した。

- **E U加盟申請への署名**

3日、サンドゥ大統領、グロス議会議長、ガブリリツァ首相はモルドバのE U加盟申請書への署名を行った。同申請所は、4日、モリ駐E Uモルドバ大使からE U議長国フランスの駐E U大使に正式に提出された。

- **ザポリツァ原子力発電所への露軍攻撃に対するモルドバ外務・欧州統合省による非難声明の発表（4日）**

- **サンドゥ大統領とスイス大統領との電話会談**

4日、サンドゥ大統領はカシス・スイス大統領と電話会談を行い、ウクライナ戦争によって生じている危機に協働して対処することで一致した。サンドゥ大統領は、これまでのモルドバの努力に言及し、国際社会からの更なる支援が必要な旨、述べた。

- **国連難民高等弁務官の当地訪問**

4日、当地を訪問したグランディ国連難民高等弁務官はサンドゥ大統領、ガブリリツァ首相及びポベスク外務・欧州統合相と会談し、ウクライナ避難民へのモルドバのこれまでの対応に謝意を表した。サンドゥ大統領は、国際社会からの更なる支援の必要性について言及した。

- **サンドゥ大統領と欧州議会議長との電話会談**

4日、サンドゥ大統領は Metsola 欧州議会議長と電話会談を行い、昨今の地域の安全保障及びモルドバのウクライナ避難民対応について議論した。サンドゥ大統領は、避難民対応のためのE Uからの喫緊の援助が必要である旨述べた。

- **サンドゥ大統領とベルギー大統領との電話会談**

4日、サンドゥ大統領は、フレデリクセン・デンマーク首相及びドゥ・クロー・ベルギー首相と電話会談を行い、昨今の地域情勢、そのモルドバ国民への影響及び現況に対するE Uの支援の方法について議論した。

- **ガブリリツァ首相とポーランド首相との電話会談**

4日、ガブリリツァ首相はモラヴィエツキ・ポーランド首相と電話会談を行い、地域の安全保障状況、ウクライナ避難民問題の解決策、地域の人道危機の経済・財政的影響等について議論した。ポーランド首相は、モルドバのE U加盟申請の決定を歓迎し、ポーランド政府は決定を支持する旨発言した。

- **ポベスク外務・欧州統合相とオーストリア外相との電話会談**

4日、ポベスク外務・欧州統合相はシャレンベルク・オーストリア外相と電話会談を行い、地域の新たな安全保障環境及びモルドバのウクライナ避難民への対応について議論した。

- **米国務長官の当地訪問**

5日、当地を訪問したプリンケン米国務長官は、サンドゥ大統領、ガブリリツァ首相と会談を行い、昨今の地域情勢及びそのモルドバへの影響について議論した。プリンケン米国務長官は、モルドバのこれまでのウクライナ避難民受け入れへの尽力に謝意を示し、引き続き支援する旨述べた他、モルドバを含む全ての国の主権と領土一体性を支持する旨言及した。

- **ガブリリツァ首相とルーマニア首相との電話会談**

5日、ガブリリツァ首相は、チウカ・ルーマニア首相と電話会談を行い、ウクライナ避難民のルーマニア入国を容易にするために協力することが決定された。ルーマニアは避難民輸送のための交通手段を提供し、人員も準備する。

- **サンドゥ大統領とカナダ外相との電話会談**

7日、サンドゥ大統領とジョリー・カナダ外相は電話会談を行い、昨今の地域情勢及び避難民対応での二国間協力について議論した。

- **サンドゥ大統領とトルコ大統領との電話会談**

7日、サンドゥ大統領とエルドアン・トルコ大統領は電話会談を行い、昨今の地域情勢、ウクライナ避難民への対応、エネルギー・経済・ビジネス分野での二国間案件について議論した。サンドゥ大統領はウクライナ避難民対応のために世界からの支援が必要である旨言及し、トルコからの支援に謝意を表明した。

- **ブルガリア外相の当地訪問**

8日、当地を訪問したゲンチョフスカ・ブルガリア外相はポベスク外相と会談し、両外相は、ロシアのウクライナ侵攻を非難し、外交的解決とウクライナの領土一体性への支持につき共通の立場を有することを表明した。

- **サンドゥ大統領とギリシャ大統領との電話会談**

9日、サンドゥ大統領とサケラロプル・ギリシャ大統領は電話会談を行い、モルドバ及び地域の安全保障環境の変化について議論した。

- **ポベスク外務・欧州統合相とスウェーデン外相との電話会談**

9日、ポベスク外務・欧州統合相はリンデ・スウェーデン外相と電話会談を行い、地域の安全保障及びウクライナ避難民への対応について議論し、ウクライナの主権と領土一体性を支持することで一致した。ポベスク外相は、避難民対応のためのスウェーデンからのこれまでの支援に謝意を表明した。

- **サンドゥ大統領とギリシャ大統領との電話会談**

10日、サンドゥ大統領とペトコフ・ブルガリア大統領は電話会談を行い、昨今の地域安全保障状況、ウクライナ避難民対応の両国の努力の強化の必要性、及び現在の状況で欧州諸国がモルドバに提供可能な支援について議論した。

- **デンマーク外相の当地訪問**

11日、当地を訪問したコフォズ・デンマーク外相はサンドゥ大統領及びポベスク外務・欧州統合相と会談し、ポベスク外相はモルドバのEU加盟へのデンマークの支持に期待を表明した。

- **IMF地域代表の訪問**

11日、当地を訪問したAtoyan IMF地域代表はサンドゥ大統領及びガブリリツァ首相と会談し、IMFは追加的財政支援を行う用意があることを表明した。

- **ポベスク外務・欧州統合相と蘭外相との電話会談**

11日、ポベスク外務・欧州統合相はフックストラ蘭外相と電話会談を行い、地域の安全保障の状況及びウクライナ避難民への対応について議論した。モルドバ側から蘭への避難民対応への支援に謝意が表明され、モルドバの欧州統合に対する蘭からの支援を期待する旨述べた。

- **ポベスク外務・欧州統合相とギリシャ外相との電話会談**

11日、ポベスク外務・欧州統合相はデンディアス・ギリシャ外相と電話会談を行い、地域の安全保障の状況、ウクライナ避難民への対応及びモルドバのEU加盟について議論した。両者はウクライナの領土一体性を支持することで一致した。

- **独外相の当地訪問**

12日、当地を訪問したベアボック独外相はサンドゥ大統領、ガブリリツァ首相、ポベスク外務・欧州統合相と会談し、地域情勢、そのモルドバの社会、政治、経済への影響への対応、並びにモルドバの欧州統合につき議論した他、モルドバ側から独からのこれまでの支援への謝意表明があり、生活水準向上及びエネルギー分野での無償資金援助の要請がなされた。

- **伊外相の当地訪問**

14—15日、当地を訪問したディ・マリオ伊外相は、サンドゥ大統領、ガブリリツァ首相及びポベスク外務・欧州統合相とそれぞれ会談し、モルドバと地域の安全保障環境の変化、ウクライナでの戦争の経済及び二国関係への影響、並びにモルドバの欧州統合について議論した。ポベスク外相との会談では、ウクライナからの避難民対応のため、医療、心理学、司法の分野において両国政府で協働することを目的とした宣言、並びに難民の国際システム及び国境での支援等の能力向上のための宣言への署名が行われた。

- **西外相の当地訪問**

16日、当地を訪問したアルバレス西外相はサンドゥ大統領、ガブリリツァ首相及びポベスク外務・欧州統合相とそれぞれ会談し、地域の安全保障の状況、ウクライナでの戦争のモルドバ及び二国間関係への影響、並びにモルドバの欧州統合について議論された。外相間会合において、国際的に認められたウクライナの主権及び領土一体性を支持し、ロシアによる軍事攻撃を非難した他、ポベスク外相は、EU加盟の文脈でスペインからの支持を期待する旨述べた。

- **ルーマニア大統領、首相、外相の当地訪問**

16日、当地を訪問したルーマニアのヨハニス大統領、チウカ首相、アウレスク外相は、サンドゥ大統領、ガブリリツァ首相、ポベスク外務・欧州統合相と会談し、地域の安全保障状況、ウクライナ避難民問題、ルーマニアからのモルドバインフラ支援案件、モルドバの欧州統合等につき議論した。

- **サンドゥ大統領とチェコ首相との電話会談**

17日、サンドゥ大統領はフィアラ・チェコ首相と電話会談を行い、地域及びモルドバの安全保障環境について議論した。サンドゥ大統領は、モルドバ政府のウクライナ避難民対応につき説明し、フィアラ首相からは謝意が表明された。また、モルドバ側からはEU加盟へのチェコの支持に期待を表明した。

- **エストニア大統領の当地訪問**

17日、当地を訪問したカリス・エストニア大統領はサンドゥ大統領と会談し、ウクライナ情勢によって生じている地域の安全保障の状況、及びモルドバの避難民対応について議論した。サンドゥ大統領は、EU加盟へのエストニアからの支援に謝意表明があり、二国間のパートナーシップ強化への期待を表明した。

• **サンドゥ大統領とグテーレス国連事務総長との電話会談**

18日、サンドゥ大統領はグテーレス国連事務総長と電話会談を行い、避難民対応の文脈で国連からの支援に感謝し、国際社会からの追加的支援を求めた。グテーレス国連事務総長は、モルドバ当局の避難民対応を称賛し、モルドバへの圧力を減らすための国連の追加支援を約束した。

• **ポベスク外務・欧州統合相と仏外相との電話会談**

18日、ポベスク外務・欧州統合相はル・ドリアン仏外相と電話会談を行い、今月21日ブリュッセルで開催されるEU外務理事会のアジェンダについて議論した。また、避難民対応の文脈で、EUの市民保護プログラムを通じたモルドバへの支援、また仏からの37トンの緊急物資支援に感謝した。

• **モルドバ－EUハイレベル政治・安全保障対話の立ち上げ**

19日、ガブリリツァ首相は当地を訪問したモラ欧州対外活動庁事務次長（政治担当）と会談し、2021年10月のモルドバ・EU連携協定に基づき、モルドバ－EUハイレベル政治・安全保障対話のプラットフォーム立ち上げを発表した。同プラットフォームは、地域情勢、地域の安全保障と安定化に関する問題について議論する可能性を提供する。

• **ポーランド大統領の当地訪問**

21日、当地を訪問したドゥダ・ポーランド大統領はサンドゥ大統領と会談し、ウクライナでの戦争に影響を受けている地域の安全保障状況、及びそれによって生じている危機について議論した。サンドゥ大統領からは、ポーランドによる借款、EU加盟の文脈での支持等、各種支援に謝意を表明した。

• **ポベスク外相のブリュッセル訪問（EU外務理事会出席）**

21－22日、EU外務理事会及び欧州議会外交委員会への出席のためにブリュッセルを訪問したポベスク外相は、ヴァールヘイ欧州委員、ヨハンソン欧州委員及び各国（ルーマニア、仏、独、リトアニア、クロアチア、スウェーデン）外相と会談を行った。

• **スイス大統領の当地訪問**

22日、当地を訪問したカシス・スイス大統領はサンドゥ大統領及びガブリリツァ首相と会談した。サンドゥ大統領との会談においては、モルドバ側より、これまでのスイスからの各種支援に対する謝意、ウクライナ避難民対応のためのスイスからの支援に謝意が述べられた他、モルドバと欧州自由貿易連合（EFTA）加盟国間の自由貿易協定への署名の重要性について言及があった。

• **サンドゥ大統領と独首相との電話会談**

22日、サンドゥ大統領はショルツ独首相と電話会談を行い、ウクライナ避難民対応のための人道的、財政的支援及び避難民の独での引き受けに感謝した他、戦争による経済的影響への追加的支援が必要であり、EU市場のモルドバ製品への開放の可能性について述べた。

• **WHO 欧州地域代表の当地訪問**

23日、サンドゥ大統領及びガブリリツァ首相は当地を訪問した Kluge WHO 欧州代表とそれぞれ会談し、昨年のコロナワクチン提供に感謝した他、モルドバの衛生システム向上及び基礎衛生サービスへのアクセス向上、医療のデジタル化等へのWHOからの支援に期待を表明した。

• **OSCE 議長（ポーランド外相）の当地訪問**

25日、サンドゥ大統領、ガブリリツァ首相、セレブリアン統一担当副首相及びポベスク外相は当地を訪問したラウOSCE議長（ポーランド外相）と会談した。ポベスク外相との会談では、トランスニストリア紛争解決、地域の安全保障、二国間対話強化のモダリティ及びモルドバのEU統合のアジェンダについて議論された。トランスニストリア紛争解決の文脈で、ポベスク外相は、同地域及びモルドバ全体の基本的な人権と自由が守られる形で、国際的に認知されている領土の統一性と主権の原則に基づいて、交渉を通じた政治的解決を望む、モルドバ国内に違法に滞在する露軍の撤退と弾薬の処分を完了することが必要、露軍のウクライナへの攻撃を非難し、ウクライナの主権と領土一体性への支援を表明する、と述べた。

また、ラウOSCE議長はクラスノセルスキ・トランスニストリア「大統領」とも会談し、ラウOSCE議長は、ウクライナ情勢のため、近い将来5+2プロセスの交渉が行われる可能性は低い、と述べたのに対し、「ク」トランスニストリア「大統領」は、トランスニストリアは対話継続に意欲があり、交渉再開に向けて可能な方策をとる、と述べた。

- **スロバキア大統領の当地訪問**

30日、サンドゥ大統領及びガブリリツァ首相は、当地を訪問したチャプトヴァー・スロバキア大統領と会談し、サンドゥ大統領からはスロバキアからのモルドバの近代化のためのこれまでの支援、EU加盟のための支援決定に謝意が表明された。スロバキア側からは、モルドバによるウクライナ避難民対応への賞賛が表明された。

- **セレブリアン副首相のPACEスロバキア大統領の当地訪問**

30日、セレブリアン副首相（再統一担当）はパリで行われた欧州評議会議員会議（PACE）の紛争に関する下部委員会に出席し、現在のトランスニストリアの状況等につき報告した。

### **3. 経済**

- **ウクライナ避難民の雇用手続き簡素化**

1日、緊急事態委員会は、緊急事態期間中、ウクライナ避難民は簡素化した手続きにて雇用が可能となる決定を承認した。移民・庇護局を通すことなく雇用主と直接契約書に署名ができ、雇用目的の一時滞在許可書は不要となる。また、同委員会は、2月23日以降ウクライナからモルドバに入国した個人の銀行口座開設の手続き簡素化を承認した。

- **税関庁、人道支援物資の輸入手続き簡素化**

1日、税関庁は、食品、医薬品、衛生用品等の人道支援物資輸入手続きを簡素化し、国家食品安全庁及び国家健康庁の承認が不要となった。本手続きを行うためには、労働・社会保健省からの特別な通知の受領が必要。

- **2021年第4四半期の平均月給529ドル**

1日、国家統計局は、2021年第4四半期の平均月給額が9,767レイ（529ドル）だったと発表した。前年同期比では10.2%増。セクター別では、IT22,335レイ（1,210ドル）、金融18,667レイ（1,012ドル）、エネルギー14,085レイ（763ドル）、社会福祉12,133レイ（658ドル）、教育7,832レイ（424ドル）、農業6,850レイ（371ドル）。

- **2022年1月～2月の予算執行状況**

4日、財務省は2022年2月の歳入が73億レイ（3.9億ドル）、対前年同期比19.7%増と発表した。歳出は93億レイ（5.0億ドル）、前年同期比20.8%増。財政赤字は20億レイ（1.1億ドル）。

- **2021年第4四半期労働力**

7日、国家統計局は、2021年第4四半期の労働者数が87万3000人（前年同期比0.8%減）になったと発表した。84万7,400人が雇用され、2万2,900人が失業中。失業率は2.6%。

- **電力調達契約、4月末まで延長**

7日、緊急事態委員会は、3月31日までが期限のトランスニストリア Kuciurgan 発電所からの電力調達契約について、2月25日に本契約は12ヶ月の延長を決定し、入札の取りやめが既に決定していたが、4月末までのみ同条件で延長することに決定した。スプヌ・インフラ・地域発展相は、ウクライナにおける戦争によりガス供給が不透明になったため、修正したと説明した。

- **最低保証賃金189ドルへ引き上げ**

9日、政府は、実体経済部門における最低保証賃金を2,935レイ（159ドル）から3,500レイ（189ドル）へ引き上げると発表した。従業員の購買力を維持し、地域及び国際レベルにおいて公正な競争環境を確保することが目的。さらに、政府は、一部を除き、中小企業開発庁（ODIMM）が提供する信用保証にアクセスするための手続きを簡素化した。

- **2022年3月年間インフレ率22.16%**

11日、国家統計局は、2022年3月のインフレ率は対前年同月比で22.16%上昇と発表した。内訳は、食品27.04%増、非食品17.99%増、サービス21.35%増。

- **国立銀行、基本金利12.5%に引き上げ**

15日、国立銀行は4度続けて基本金利の引き上げを発表し、12.5%（現行より2%増）にすることを決定した。

- **2021年GDP成長率13.9%**

15日、国家統計局は、2021年名目GDPが2,491億レイ（135億ドル）、対前年成長率13.9%と発表した。対2019年比では4.5%成長。

(1) 生産では、プラスの要因は農業 (GDP 構成率 10.4%、GDP 成長率に 4.2% 寄与)、商取引 (同 14.9%、同 4.2%)、輸送及び保管 (同 4.2%、同 1.6%)、情報通信 (同 5.5%、同 1.2%)。マイナスの要因は建設業 (GDP 構成率 8.2%、GDP 成長率にマイナス 1.6% 影響)。製造業は、GDP 構成率 8.2%、GDP 成長率に影響なし。

(2) 消費では、家計最終消費支出は 4.4% 増加し (GDP 構成率 80.8%、GDP 成長率に 12.6% 寄与)、総資本形成は 15.5% 増加した (GDP 構成率 24.2%、GDP 成長率に 0.4% 寄与)。純輸出 (輸入 + 14.8%、輸出 13%) は、GDP 成長率にマイナス 5% 影響。

- **首相、モルドバガスの債務監査は 5 月 1 日に終了しない見込み**

16 日、ガブリリツァ首相は、露ガスプロム社に対するモルドバガスの債務監査について、戦争により外国企業が入札に参加せず入札が完了しなかったため、5 月 1 日に終われないと述べた。政府は、数企業と交渉は継続する予定。報道にリークされたモルドバガスと露ガスプロム社の契約書によれば、2022 年 5 月 1 日にモルドバガスの露ガスプロム社に対する債務の解決に合意ができなかった場合、ガスプロム社は契約を解消可能となっている。

- **4 月 1 日より年金金額改定**

16 日、ガブリリツァ首相は、4 月 1 日より、年金支給額が 9,900 レイ (535 ドル) 以下の者を対象に、2021 年末のインフレ率 13.94% 分の年金支給額引き上げを行うと発表した。

- **2022 年 GDP 成長率予測 0.3% に下方修正**

16 日、ガブリリツァ首相は、ウクライナ情勢の影響により 2022 年の GDP 成長率は 0.3% の予測と下方修正した。1 月 12 日時点の政府の同予測は 4.4% であった。

- **4 月 1 日より電気料金値上げ**

18 日、国家エネルギー規制庁は、4 月 1 日より、モルドバの中央及び南部の家庭向け電気料金は 1.51 レイ/kWh (8.2 セント) から 2.17 レイ/kWh (12 セント) へ、同モルドバ北部は 2.04 レイ/kWh (11 セント) から 2.51 レイ/kWh (14 セント) へ値上げされると発表した。

- **国家地域開発プログラム「ヨーロッパ村」開始**

21 日、サンドゥ大統領は、村におけるインフラ支援を目的とする国家地域開発プログラム「ヨーロッパ村」の開始を発表した。2022 年の予算は 770 百万レイ (42 百万ドル)、プロジェクトごとの最大資金は 10 百万レイ (50 万ドル)。

- **UNDP、モルドバ国民の最大半数が貧困に陥るリスクあり**

23 日、UNDP の初期予測は、ウクライナにおける紛争の影響により向こう 12 ヶ月で、モルドバで 30% 以上の人が貧困線以下で生活し、54% の人が貧困線以下となるリスクが高いと公表した。主な要因は、ウクライナとロシアと経済関係が強いモルドバの経済危機の可能性とエネルギー危機、人々の大規模な移動。

- **2021 年、独立以来最大の農業収穫高**

23 日、イオニツァ・エコノミストは、2021 年の農業生産に係る分析をし、収穫高は 461 億レイ (25 億ドル) で、対前年比 49% 増と公表した。2020 年は深刻な干ばつが影響したが、過去 70 年で最大の伸びで、独立以降最高の収穫高となった。

- **農業助成金増額**

30 日、政府は 2022 年の農業助成金を 400 百万レイ (22 百万ドル) 増額した 17.5 億レイ (0.95 億ドル) とすることを決定した。

#### **4. 経済協力・人道支援**

- **在モルドバ中国大使館、キシノウ市へ 10 万ドル寄付**

4 日、キシノウ市長室は、在モルドバ中国大使館が避難民危機支援のため 10 万ドルを寄付したと発表した。

- **EU、モルドバ及びウクライナ緊急人道支援**

7 日、ポレル EU 上級代表は 100 百万ユーロのモルドバ及びウクライナへの緊急人道支援を発表した。

- **スイス、20 トンの人道支援物資を提供**

10 日、スイス政府は毛布、テント、電気暖房等 20 トン強の人道物資をモルドバ当局に提供したと公表した。

- **英、25 トンの人道支援物資を提供**

13 日、イギリス政府はモルドバに、毛布や衛生用品等 25 トンの人道支援物資を提供したと発表した。

- **オーストリア、フィンランド、デンマーク、イタリア等より人道支援受領**

15日、モルドバは、EU 市民保護メカニズムを通じて、多くの人道支援を受領したと発表した。オーストリアより3.7万ユーロ分の衛生用品やテント等、フィンランドより58.5万ユーロ分の暖房付テント等、デンマークより11.7万ユーロ分の救急車、イタリアより5万6千ユーロ分の衛生用品や台所セット等。

- **ルーマニア、55トンの人道支援物資寄付**

16日、ルーマニアはモルドバに、食品及び非食品、2週間前に寄付したサプリメント17トンを含む55トンの人道支援物資を提供したと公表した。

- **米、モルドバにおける避難民支援に30百万ドル出資**

20日、ログスドン在モルドバ米国大使は、アメリカがモルドバにおける避難民支援に向こう6ヶ月で30百万ドルを提供すると公表した。

- **ポーランド、20百万ユーロ無利子融資を提供**

21日、ポーランドは、難民危機支援のため、モルドバに20百万ユーロ無利子融資を提供すると発表した。

- **スイス、避難民対応のため、モルドバに2百万フラン支援**

22日、スイスは、避難民対応のため、モルドバに2百万フラン支援すると発表した。

- **ルーマニアより燃料油寄付、第一ロット到着**

24日、ルーマニアからの5千トンの燃料油寄付の第一ロット、1,250トン分がモルドバに到着した。

- **これまでに6.6百万ユーロ分の人道支援物資受領**

24日、ウルデア官房副長官は、2月27日以降、モルドバは221ロットの人道支援物資を受領し、6.6百万ユーロ分に上ると述べた。24日時点、財務省の口座には46.7百万レイ（2.5百万ドル）の寄付が寄せられている。

- **USAID、エネルギー安全保障支援**

25日、USAIDは、モルドバのエネルギー安全保障に係る4年間17百万ドルの新規プロジェクトを発表した。

- **中国、70万ユーロ分の人道支援物資支援**

29日、中国はモルドバ政府に570万モルドバ・レイ（3,800万円）分の第一弾支援物資を引き渡した。合計70万ユーロの支援となる見込み。

- **スロバキア、5万ユーロ相当の人道支援物資支援**

30日、スロバキアはモルドバに5万ユーロ相当の人道支援物資支援提供を発表した。

## **5. 対日関係**

- **日本、1億ドルのウクライナ及びウクライナ周辺国支援**

11日、日本政府は、ウクライナ及びモルドバを含むウクライナ周辺国に1億ドルの緊急人道支援を行うと発表した。

- **ポベスク外相と林外相の電話会談**

16日、ポベスク外相は林外相と電話会談を行い、両外相は両国間関係、地域の安全保障等について議論し、過去30年間の両国の協力関係を強調しつつ、政治、ビジネス・経済、教育、文化分野での対話深化への関心を確認した。モルドバ側からは、ウクライナ避難民対策の財政支援及びJICA調査団の派遣を含む、これまでの日本からの各種支援に謝意が表明された。